

有田市の子どもたちの状況

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果から

全国学力・学習状況調査は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること」を目的に実施しています。これらの結果を児童生徒の学力や学習状況を測る一つの指標として、全国の状況等をもとに分析し、成果と課題を検証するとともに、教育活動の充実や日々の授業改善を図り、児童生徒一人一人の学習状況の改善等につなげていきます。

1. 調査概要

◆調査日時：令和4年4月19日（火）

◆調査事項：①児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学、理科〕

質問紙調査（生活習慣や学習環境等に関する調査）

②学 校：質問紙調査（学校における指導方法や教育条件の整備の状況等に関する調査）

◆対象学年：小学校第6学年及び中学校第3学年

◆調査の特徴：

・「知識」と「活用」を一体的に問う調査問題

◆市内実施学校数及び参加人数

・小学校調査・・・7校（177名）

・中学校調査・・・3校（173名）



平成30年度までは、

・「A問題」（主として「知識」に関する問題）

・「B問題」（主として「活用」に関する問題）

に分かれていましたが、平成31年度（令和元年度）よりA問題・B問題が統合され、「知識」・「活用」を一体的に問う形式での出題となっています。

2. 教科に関する調査結果概要

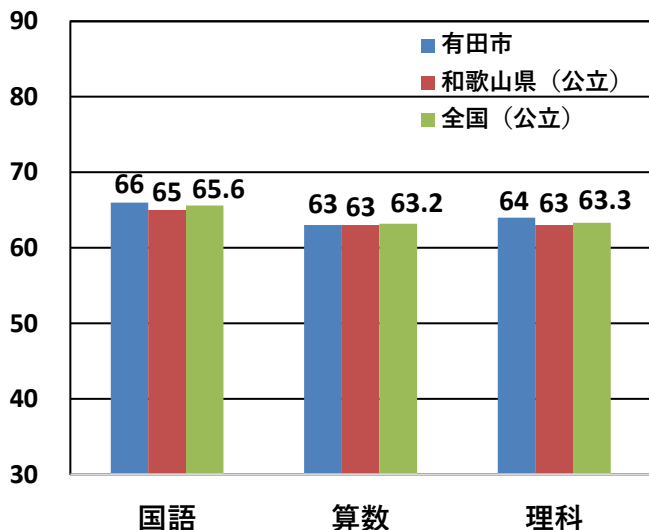
① 各教科における調査問題数と平均正答数

小学校6年生	国語	算数	理科
調査問題数	14問	16問	17問
全国平均正答数	9.2問	10.1問	10.8問
有田市平均正答数	9.2問	10.1問	10.8問

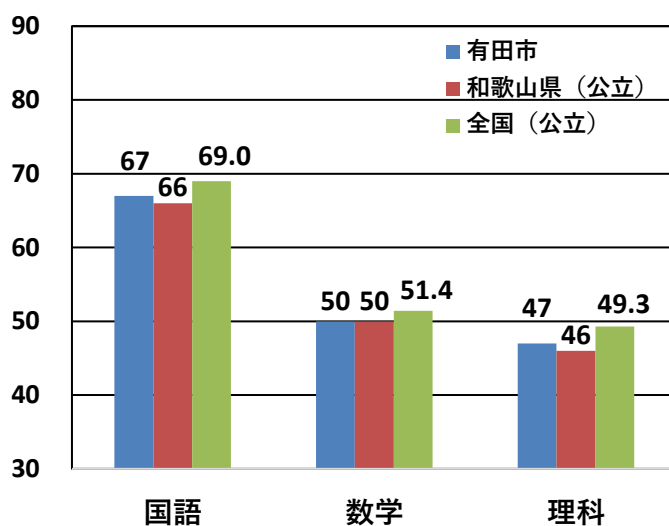
中学校3年生	国語	数学	理科
調査問題数	14問	14問	21問
全国平均正答数	9.7問	7.2問	10.4問
有田市平均正答数	9.3問	7.1問	9.9問

② 各教科における平均正答率（％）

小学校第6学年



中学校第3学年



表は各教科の調査問題数（問）と平均正答数（問）を、グラフは各教科における有田市、和歌山県（公立）、全国（公立）の平均正答率（％）を表したものです。小学校第6学年において、国語、理科で全国平均正答率を少し上回り、算数で少し下回っています。中学校第3学年において、国語、数学、理科のすべての教科で、県平均正答率と同じ、もしくは上回っているものの、全国平均正答率より下回っています。

3. 教科に関する調査結果

国語 【学習指導要領の内容別正答率】

◎…全国と比べて3pt以上高い ○…同程度（全国平均以上）
▽…同程度（全国平均以下） ▼…全国と比べて3pt以上低い

国語		小6	中3
知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	○	▽
	(2)情報の扱い方に関する事項		○
	(3)我が国の言語文化に関する事項	◎	▼
思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	▽	▽
	B 書くこと	○	○
	C 読むこと	▽	○

「書くこと」については、小学校6年生、中学校3年生ともに全国平均を上回っていますが、「話すこと・聞くこと」については、ともに全国平均を下回っています。「我が国の言語文化に関する事項」について、小学校では大きく上回っているものの、中学校については全国平均を3pt以上下回り、課題がみられます。

<中3国語>大問4一

【小学校 国語】（◇できている ◆課題がある 数字は正答率）

◇「漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く」〔3四〕ことは、全国平均を大きく上回っています。（有田市 85.2% 全国比+7.3pt）

◆「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」〔3二〕ことについて課題があります。（有田市 36.9% 全国比-0.8pt）

【中学校 国語】

◇「聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する」〔1一〕ことはできています。（有田市 75.6% 全国比+0.9pt）

◆「行書の特徴を理解する」〔4一〕ことに課題があります。（有田市 25.6% 全国比-13.8%）

「共有」に関する指導事項の定着を図るために、互いの文章に対する感想や意見を伝え合うことを通して、自分の文章のよさを見付けたり、よさを言葉にしたりすることができるように指導の充実を図ります。

【文章2】
わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。
そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をアロクがして、各学級にしようかいたそうです。
この話を聞き、五年生の時にさいはい委員会では自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをいはいしました。
わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もウししたむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいたいです。

<小6国語>大問3二

（問い） 島谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが島谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。
（条件）
○「文章2」のよさを書くこと。
○「文章2」から言葉や文を取り上げて書くこと。
○六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

有田市 36.9%

（正答例）わたしの文章のよさは、最初に、「この一年間でがんばりたいことは」と自分の考えをはっきり書いてから、その次に、「そう考えたのは」と考えの理由をかいたところだ。（八十二文字）

有田市 25.6%

【最初に書いた文字】について、青山さんは「行書の特徴を踏まえて書くことができている」と述べていますが、その具体的な内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
1 ①の部分は、筆順の変化に気を付けて書くことができている。
2 ②の部分は、楷書と同様に点画を直線的に書くことができている。
3 ③の部分は、点画を省略して書くことができている。
4 ④の部分は、点画を連続して書くことができている。

56.4%

（誤答3）
行書における「省略」が理解できていないため、楷書と比較し、特徴を捉えるようにする



最初に書いた文字

算数 / 数学	小6	中3
A 数と計算 / A 数と式	▽	▽
B 図形	○	○
C 測定	△	△
C 変化と関係 / C 関数	▽	▽
D データの活用	○	▽

小学校6年生、中学校3年生とも「B図形」の領域においては全国平均を上回っていますが、「A数と計算/数と式」「C変化と関係/関数」の領域において全国平均を下回っています。また、中学校においては、「Dデータの活用」も含め、「B図形」以外の3つの領域で全国平均を少し下回る結果となっています。

【小学校 算数】(◇できている ◆課題がある 数字は正答率)

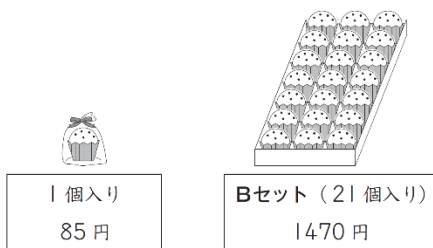
- ◇「目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取る」〔3(3)〕 ことについて全国平均を大きく上回っています。(有田市 76.8% 全国比+10.0pt)
- ◆「示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察する」〔1(4)〕 ことに課題があります。(有田市 27.1% 全国比-7.7pt)

【中学校 数学】

- ◇「証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解する」〔9(1)〕 ことについて全国平均を上回っています。(有田市 78.0% 全国比+4.8pt)
- ◆「一次関数の変化の割合の意味を理解する」〔4〕 ことに課題があります。(有田市 32.9% 全国比-5.0pt)

<小6算数>大問1(4) (「A数と計算」領域)

(4) カップケーキが1個入り85円でも売られています。くるみさんは、1個入り85円のカップケーキ21個分の値段と、Bセット1箱分の値段である1470円を比べることにしました。



1個入り85円のカップケーキ21個分の値段は、 85×21 で求めることができます。

くるみ 85×21 の答えが1470より必ず大きくなることは、 85×21 をそのまま計算せずに、85と21をがい数にして計算してもわかります。

85×21 の答えが、1470より必ず大きくなるのがわかるためには、「85」と「21」をどのようにがい数にして計算するとよいですか。下のアからエまでのの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

有田市 27.1%

- ア 85を小さくみて80、21を小さくみて20として計算します。
- イ 85を小さくみて80、21を大きくみて30として計算します。
- ウ 85を大きくみて90、21を小さくみて20として計算します。
- エ 85を大きくみて90、21を大きくみて30として計算します。

(誤答ウ)56.5%
2つの数を四捨五入してがい数にする方法は、今回の題意に合っていない

「85」を「80」に、「21」を「20」に2数とも小さく見積もり、1470より大きいか調べる
→ 80×20 が1470より大きければ、 85×21 も必ず大きくなる

<中3数学>大問4 (「C関数」領域)

下のアからエまでの表は、 y が x の一次関数である関係を表しています。この中から、変化の割合が2であるものを1つ選びなさい。

ア	有田市 32.9%	x が2増えると、 y が4増える
イ	35.8%	x が2増えると、 y が2増える
ウ	17.9%	x が2増えると、 y が1増える
エ	12.7%	x が2増えると、 y が3増える

※反応率がアとイで逆転している

→誤った理解が定着している状況

※反応率がア～エで分散している

→関数における変化の割合についての理解が定着していない状況

「変化の割合」の意味を理解するために、伴って変わる二つの数量の変化の特徴を捉える活動を重視することが大切である。その際、「変化の割合は x の増加量が1のときの y の増加量である」と捉えることができるように指導の充実を図ります。

理科 【学習指導要領の領域別正答率】

◎…全国と比べて3pt以上高い ○…同程度(全国平均以上)
▽…同程度(全国平均以下) ▼…全国と比べて3pt以上低い

理科	小6	中3
エネルギー	○	▽
粒子	▽	▽
生命	○	▼
地球	▼	○

小学校6年生について「エネルギー」「生命」の領域で全国平均を上回っているものの、「地球」の領域においては、全国平均を3pt以上下回っています。また、中学校3年生について「地球」の領域で全国を上回っているものの、他3領域において全国を下回っています。特に「生命」の領域においては全国平均を3pt以上下回り課題がみられます。

【小学校 理科】(◇できている ◆課題がある 数字は正答率)

- ◇「問題を解決するために必要な観察の視点を基に、解決の道筋を構想する」〔1(1)〕ことはできています。(有田市 93.8% 全国比+0.9pt)
- ◆「観察などで得た結果を結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつ」〔4(3)〕ことについて課題があります。(有田市 40.7% 全国比-4.8pt)

【中学校 理科】

- ◇「化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表す〔3(1)〕ことはできています。(有田市 76.9% 全国比-3.2pt)
- ◆「予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見通しをもつ」〔8(2)〕ことに課題があります。【下記参照】

<中3理科>大問8(2) アリの行列を科学的に探究する(「生命」領域)

レポートの続きの一部

【調べたこと】

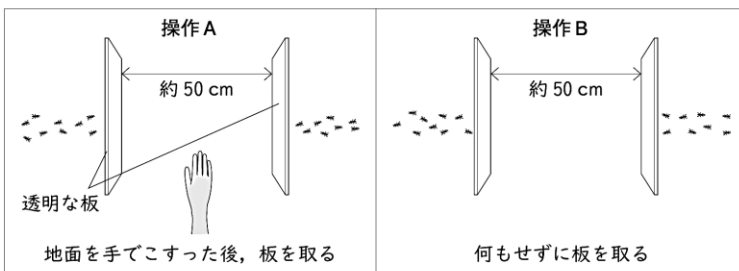
アリは、腹部の先から「においの物質」を出し、地面に付けながら歩く。

【課題2】

アリは、嗅覚による情報をもとに行列をつくるか。

【実験2】

- アリをつぶさないように2枚の透明な板で行列を分断する。
- 操作Aと操作Bを行った後のアリの行動を比較する。

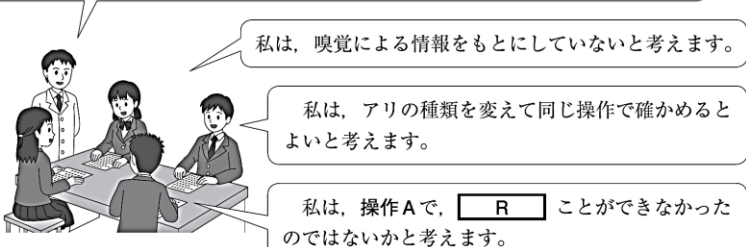


【結果の予想】

嗅覚による情報をもとにしていれば、操作Aは行列をつくらず、操作Bは行列をつくるだろう。

予想と異なる結果が出る場合について考える場面

もし、【結果の予想】と異なり、操作Aも操作Bも行列をつくる結果になった場合は、どのように考えればよいですか。



(2) R に当てはまる適切な言葉を書きなさい。

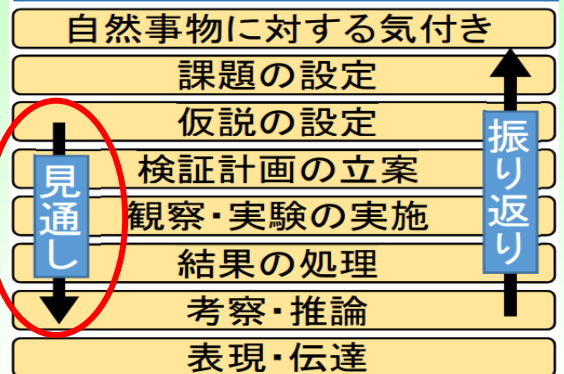
(有田市正答率 46.8% 全国比 -8.3pt)

(正答例)

- ・においを消す
- ・十分に板の間隔をとる
- ・十分に地面を手でこする など

観察、実験の操作や条件の制御など、探究の方法について検討し、探究の過程について見通しをもつことに課題がある。

探究の過程



実験の計画を立案する際に、予想と異なる結果が出る場合を想定し、探究の方法について検討する学習場面を授業の中で設定するなど指導の充実を図ります。

質問紙調査の結果から ※数字は児童生徒の割合 (%)

基本的な生活習慣に関すること ～見直そう！「早寝・早起き・朝ご飯」～

質問項目 (※「 している/どちらかといえばしている 」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
朝食を毎日食べていますか	93.2	94.4	86.7	91.9
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	84.8	81.5	85.7	79.9
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.5	90.4	97.7	92.2
普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)をしますか(※ 2時間以上 と回答した児童生徒の割合)	50.6	50.2	56.9	50.3
普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォン等でSNSや動画視聴などをしますか(学習に係る時間は除く)(※ 2時間以上 と回答した児童生徒の割合)	32.1	32.5	51.8	52.0

子供たちの健やかな成長のためには、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠など基本的な生活習慣が大切です。「早寝早起き朝ごはん」を基本とした規則正しい生活習慣の定着に向け、家庭と連携していく必要があります。基本的な生活習慣を身に付けることは、自分の健康を維持し、持っている力を最大限に発揮していくことにもつながります。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータ等の機器は、正しく使えば大変便利なツールとなりますが、長時間の利用は視力の低下などの原因になったり、使い方を誤ると大きなトラブルに巻き込まれたりすることもあります。誰もが安心・安全に使うためには、自ら使い方を考え、ルールを守って利用することが大切です。

学習習慣・読書習慣に関すること

質問項目 (※「 当てはまる/どちらかといえば当てはまる 」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか(予習・復習含む)	74.1	71.1	55.1	58.5
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)1日当たり 1時間以上 勉強をしている割合(学習塾・家庭教師・インターネット活用も含む)	70.8	59.4	52.8	69.5
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日) 全く読書をしない 児童生徒の割合(※ 数値が少ないほど良い傾向)	15.7	26.3	47.7	39.0

学校では宿題として家庭での学習課題を適切に課したり、発達の段階に応じた学習計画の立て方や学び方を示したり、自主学習の取組を進めたりするなどの指導を行っています。学習内容の定着を目指すことだけでなく、児童生徒自らが主体的に学ぶ資質・能力の育成と生涯にわたって学び続ける基礎を培うため、今後も引き続き家庭との連携を図りながら、各学校において取組を進めていきます。

学校図書館が子供たちにとって親しみやすく、魅力ある場所になるよう、学校司書の配置等により学校図書館(図書室)の環境整備を進めています。

ご家庭においては、読み聞かせや親子読書など、子供と一緒に本を読む時間をつくってみるのもおすすめです。



挑戦心、達成感、自己有用感等に関すること

質問項目 (※「当てはまる/どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
自分には、よいところがあると思いますか	74.8	79.3	78.7	78.5
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	87.1	87.1	87.4	86.6
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	91.5	87.2	93.7	86.6
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	80.3	72.5	70.7	67.1
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	80.9	68.1	81.6	66.6
学校に行くのは楽しいと思いますか	92.7	85.4	87.9	82.9

「学校に行くのは楽しい」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と肯定的に回答した子供の割合が全国と比較してかなり高くなっています。また「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と肯定的に回答した子供の割合も全国と比較して高くなっています。

急速な社会の変化の中で、一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められています。そのためには、自ら考え、行動していくことのできる自立した個人として、心豊かにたくましく生き抜いていく基礎を培うことがより一層重要になってきます。児童生徒が学ぶことの意義を実感できる環境を整えるとともに、一人一人の資質・能力をさらに伸ばしていけるよう、学校教育全体で取組を進めてまいります。

ICTを活用した状況に関すること

質問項目 (※「当てはまる/どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
5年生まで(1, 2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を ほぼ毎日 使用したと回答した割合	30.9	26.7	47.1	21.6
学校で、 授業中に自分で調べる場面 で、PC・タブレットなどのICT機器を 「週3日以上」 使用していると回答した割合	29.8	43.9	62.6	37.2
学校で、 学級の友達と意見を交換する場面 で、PC・タブレットなどのICT機器を 「週3日以上」 使用していると回答した割合	16.3	22.5	42.6	17.8
学校で、 自分の考えをまとめ、発表する場面 で、PC・タブレットなどのICT機器を 「週3日以上」 使用していると回答した割合	18.6	21.7	30.4	15.0
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	96.6	94.4	92.0	92.6

令和3年4月にGIGAスクール構想の実現に向け一人一台端末と校内LANを整備し、各学校において活用を進めているところです。中学校においては、全国と比較しても活用がかなり進んでいる状況にあります。



これからの学校では、一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら様々な社会の変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓くための力を育むため、一人一人の子供を主語にした学びを展開していく必要があります。今求められている学びの姿を実現するために、学校教育の基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠であると考えています。

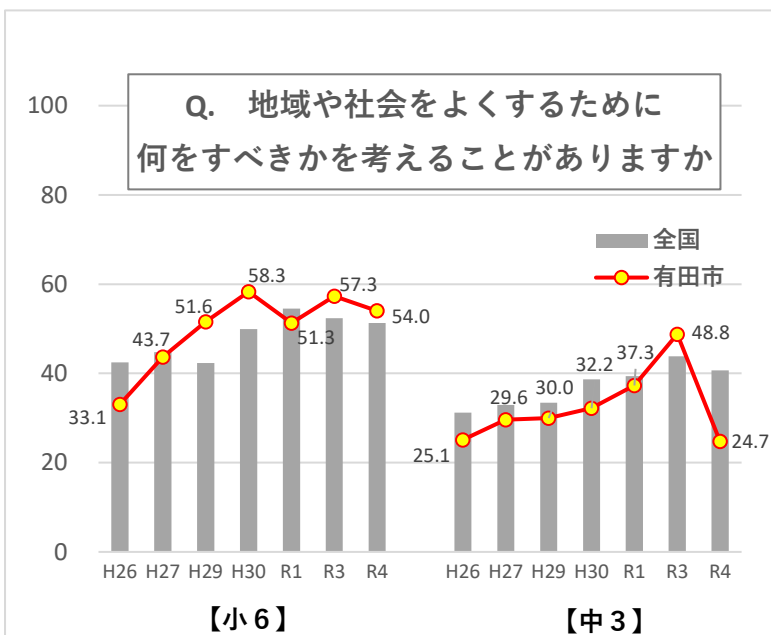
令和4年度は、令和3年度に立ち上げたGIGA推進プロジェクトチームを発展させ、組織的な推進に関わる「推進リーダー会議」と個人のスキルアップを目指す「基礎的な操作研修」という、2つの目的別の会議及び研修を計画して実施しています。

デジタル化の時代であるからこそ、子供たちの学びを保障する手段としてこれまでも行われてきた、教師による対面指導や、子供同士による学び合い、地域社会での多様な体験活動など、リアルな体験を通じて学ぶことの重要性も改めて認識するとともに、遠隔・オンライン授業、デジタル教科書の活用など、ICTの良さを最大限に生かした授業改善及び今までできなかった学習活動の実施や家庭など学校外での学びの充実、さらには、児童生徒一人一人に寄り添った指導の充実を目指して、引き続き取組を進めてまいります。目的に応じてICTを効果的に活用した授業づくりを行うとともに、子どもたち自身がICTを活用できる情報活用能力の育成にも力を入れていきます。



地域や社会に関わる活動の状況等に関すること

質問項目 (※「当てはまる/どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
今住んでいる地域の行事に参加していますか	56.8	52.7	29.3	40.0
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	54.0	51.3	24.7	40.7



左のグラフは、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」についての経年変化を表しています。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合について、令和4年度の小学校6年生は全国平均より10%以上高く、中学校3年生は全国平均を大きく下回っています。特に中学校3年生については令和3年度に比べて数値が約半分の値にまで下がっています。

(※H28は同じ質問項目がないため記載なし、R2は全国学力・学習状況調査なし)

有田市では「地域とともにある学校」づくりを進めるため、平成29年4月に市内すべての小中学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールの仕組みを導入しました。コミュニティ・スクールは、育てたい子供像、目指すべき教育の目標を学校が地域と共有し、一体となって子供たちの成長を支えていくことをねらいとしています。令和4年度は特に中学校で、地域行事に参加したり、地域や社会のことを考えたりすることができる生徒の割合が低くなっています。数字が大きく低下している背景の一つに、新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域の方々と関わりを持つ機会が大きく減少していることが挙げられます。これからの社会を生きるために必要な資質・能力の育成に向け、学校と地域が目標を共有しながら、子供たちの豊かな学びや育ちを実現していきます。

